



## 2回戦の2回、2点を返し盛り上がる八幡南ベンチ

最後までしごとく

**八幡南** 初戦で準優勝した愛知瀬戸に敗れたが、最終回までしごとくを見せた。4点を追う2回に管太樹、葉山正汰の連打をきっかけに2点を返し、3回にも1点を返して1点差に。その後5点を奪われたものの、7回に勝木大生、長谷川舜の連打からつないで3点を返した。

## リポビタンカップ第53回選手権大会

(2〜7日・大阪シティ信用金庫スタジアムほか)

監督代行の古賀哲也コーチは「全国大会だからなのか守備に硬さがあった。それでも最後は自分たちのつなぎの野球で追い上げられた」と話した。

### ▼同2回戦

八幡南(北九州)

0	2	1	0	0	0	3
4	0	0	2	0	3	X
						9
						6

愛知瀬戸(愛知西)

【八】管、内木場、塚本、田中、梶原、長谷川【愛】岡山、倉知、徳島▽二塁打||松本2、山田聖、倉知、岡山(愛)